

令和3年度 第1回 介護ロボットメーカー連絡会議の開催について

1. 開催の背景

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、生産年齢人口が減少し、介護ニーズが増大していく中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上を図り、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入は不可欠となっています。

現在、福祉用具・介護ロボット（以下、「介護機器」。）の介護現場における利用は、様々な分野で、様々な主体により取り組まれており、今後さらに活用を推進するためには、介護現場のニーズを踏まえた開発、介護現場への周知・体験機会の創出、機器を活用した介護技術・業務改善方法の構築等、開発・導入・普及・活用それぞれのフェーズで時宜を得た取組を実施する必要があります。

厚生労働省では、昨年「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」（以下、「介護ロボットのプラットフォーム事業」。）を創設し、介護ロボットの開発から普及までの一連の流れを加速化するため、地域における開発から活用までの相談窓口（地域拠点）を設置するとともに、介護ロボットの製品化にあたっての評価・効果検証を実施するリビングラボのネットワークを形成し、さらに実証フィールドを整備し、介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームを推進しております。

こうした背景のもと、関係企業に対して行政の動向及び介護ロボットに関する最新の取り組み状況等について周知するとともに、企業間等の情報共有や技術連携を通じて、介護ロボット開発のための新たなイノベーションの創出につなげることを目的とした「介護ロボットメーカー連絡会議（以下「本会議」）」を開催することに致します。

2. 事務局

本会議は、「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」における介護機器の普及に係る取組の一環として位置付け、当協会が行います。

公益財団法人テクノエイド協会 担当：谷田、松本、根石、五島
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階
電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885
E-mail robocare@techno-aids.or.jp

3. 参加、呼びかけ等

- 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、モニター調査やアドバイス支援事業を行い、既に商品化した介護ロボット等のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含みます。）
- ロボット介護機器開発・標準化事業（以前の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」を含みます。）において採択され、既に商品化したロボット介護機器のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含みます。）
- 介護ロボット導入支援事業等において、採用された実績のある介護ロボットメーカー
- 次世代の福祉用具・介護ロボットの開発研究を行う者及び、この分野への新規参入や技

術応用を希望しており、技術シーズを有している企業や団体、研究機関等（ハイテクとローテクは問わないことと致します。）

- ※ 参加呼びかけにあたっては、これまでの参加名簿に基づくテクノエイド協会からの周知に合わせ、経済産業省及び産業技術総合研究所、日本医療研究開発機構、日本ロボット工業会、ロボット革命イニシアティブ協議会、日刊工業新聞等のマスコミにも周知をお願いいたします。

4. 参加申し込み

新型コロナウイルス感染症を予防する観点から、Webでの開催とします。

【視聴（web参加）方法】

下記URL又はQRコードよりお申込み下さい。

https://zoom.us/webinar/register/WN_jT8AhDrPSv2E_vlSjya4IA

※）視聴（web参加）を希望される方は、必ず事前にご登録ください。



【参加定員】

インターネットを通じて配信いたします。配信の定員は500名となります。

入退室は自由ですが、定員オーバーとなり次第、入室できませんのでご了承ください。

【参加費】

無料

5. 開催内容(予定)

(1) 日時：令和3年6月21日（月）13時00分～16時40分

(2) 開催方法：Web会議

※ ZOOMの利用を予定。上記4から参加申し込みをいただいた方には、登録完了次第、会議への招待アドレスを送信いたします。

(3) 内容：

【第1部】

(行政報告)

① ロボットに係る施策の動向<各20分>

13:10~13:50

- ・厚生労働省老健局 高齢者支援課 介護ロボット開発・普及推進室 補佐 山田 士朗 氏
- ・経済産業省商務情報政策局 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 補佐 村川 拓也 氏

(情報提供)

② 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業について<40分>

13:50~14:30

公益財団法人テクノエイド協会 五島 清国

- ・介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発に係る取組みについて
アドバイス支援及びモニター調査事業等の実施
- ・介護ロボット地域フォーラムの開催について
- ・都道府県における介護ロボットの開発・導入に係る助成事業について
- ・介護ロボットの試用貸出リスト等について
- ・その他令和3年度の主な事業の予定について

③ 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業について<15分>

14:30~14:45

株式会社NTTデータ経営研究所 足立 圭司 氏

～ 休憩 ～

【第2部】

(取組報告) <各20分>

④プラットフォーム事業におけるリビングラボの役割

14:55～15:35

産業技術総合研究所 柏リビングラボ 松本 吉央 氏

⑤プラットフォーム事業における相談窓口の役割

福祉カレッジ 富山県介護実習・普及センター 宮原 百合子 氏

(基調報告) <各20分>

⑥介護ロボットの開発・普及の最前線

15:35～16:35

・ロボット介護機器の導入・利用マニュアルの作成について(仮称)

大内病院認知症疾患医療センター 松井 敏史 氏

・介護現場改革促進等事業の実施について(仮称)

東京都福祉保健財団 原田 翔 氏

・自治体と連携しICTを活用した高齢者の孤立解消(デジタルデバイドの解消)(仮称)

株式会社チカク 石井 唯宏 氏

～ 閉会 ～